

会議録

会 議 の 名 称	第1回あま市子ども読書活動推進計画策定委員会
開 催 日 時	令和5年6月26日（月）午前9時30分から
開 催 場 所	あま市役所 2階 B会議室
内 容	1 委員長、副委員長の選出について 2 委員長あいさつ 3 協議事項 (1)国・県・市町村の策定状況について (2)あま市子ども読書活動推進計画について (3)今後の日程について 4 その他
資 料	資料1 あま市子ども読書活動推進計画策定委員会要綱 資料2 子どもの読書活動の推進に関する法律 資料3 第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」 資料4 愛知県子供読書活動推進計画（第四次） 資料5 県内市町村の子ども読書活動推進計画の策定状況 資料6 あま市における子ども読書活動の推進に関する取組 資料7 第三次あま市子ども読書活動推進計画策定委員会予定表
出 席 委 員	三輪昭子委員長、山口陽子副委員長、内藤美千代委員、糸野克好委員、鎌倉崇志委員、吉川史高委員、林一史委員、寺澤直樹委員
欠 席 委 員	飯田奈々委員、佐藤尚委員
事 務 局	（教育委員会） 伊藤克仁教育長 （教育部生涯学習課） 内山伸也課長、近藤博主幹、濱嶋直樹委員、増田百華主任、 上村希美香主事

委員会の経過

1 委員長、副委員長の選出

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 国・県・市町村の策定状況について

生涯学習課より説明

<質疑応答>

(委員)

あま市の第二次子ども読書活動推進計画は2019年4月策定ということだが、予定通りに進んでいるのか。

(事務局)

予定通り進んでいる。

(2) あま市子ども読書活動推進計画について

生涯学習課より説明

<質疑応答>

(委員)

第三次子ども読書活動推進計画では、現状の取組みにさらに付加をして、目新しいことを付け加えていくという考え方でよいか。

(事務局)

新しく取り組んでいくことができるようなものがあれば、委員会の中で相談しながら、計画の中身を作っていく。

また、策定委員会、作業部会以外にも関わる人間を増やしていきたい。ヒアリングをし、課題を洗い出し、あま市らしさを出せるような計画を作りたいと思っている。

(委員)

関わる人を増やすというのは、現在美和図書館に勤めている人たちに作業部会に関わってもらおうということか。ブックリストのようなものを作っていくのか。

愛知県の子ども読書活動推進計画では毎年高校生のビブリオバトルを行っているが、冊子を作るだけでなく、そのような具体的に目に見えるようなことを考えていくという意味合いもあるということでしょうか。

(事務局)

内容や、どういった方に関わっていただくかは現状未定だが、計画を策定して終わりにならないよう、図書に関わる人であればぜひ計画の策定に関わってもらい、計画から派生するものも含めてご意見をいただきたいと考えている。

(委員長)

子どもたちが動画で各地域の図書館、図書室のPRをするなど、旧三町が一体化

できるような取組みを行ってはどうか。

(委員)

資料6について、現在行っている事業の取組み状況を評価したものはあるのか。

(事務局)

各事業の取組み状況については、図書館年報や社会教育審議会の資料として毎年報告している。第二回策定委員会で具体的にお示しする。

(委員)

コロナの3年間は、ブックスタートの読み聞かせができないなど大きな影響があった。第三次に向けてコロナの影響もどのように考えていくかも内容的に盛り込めるとよい。

(教育長)

あま市の子ども読書活動推進計画では数値目標を立てているのか。

(事務局)

基本目標2、公共図書館等サービスの充実という項目にて、5年後の目標数値を定めている。達成状況については9月10月の調査にて確認する。

(3)今後の日程について

生涯学習課より説明

<質疑応答>

(教育長)

アンケート調査について、小学校4年生、中学校2年生は、あま市内の全員か抽出か。高校生は市内在住か市内の五条、美和高校にお願いするのか。

(事務局)

第一次第二次と同様に、小学校4年生、中学校2年生に関しては、市内全児童生徒を対象としたい。高校2年生については、市内の公立高校である美和高校と五条高校にお願いをしたいと考えている。

(委員)

3歳児健診におけるアンケート調査は、対象者にこちらから通知を出すのではなく、来た人にアンケートを渡すという認識でよいか。

(事務局)

お見込みのとおり。

(委員)

作業部会のメンバー編成は。

(事務局)

保育課保育士長、子ども福祉課係長、健康推進課甚目寺保健センター課長補佐、学

校教育課主幹、美和図書館副館長、生涯学習課の主幹、各公民館読書室・図書室担当。後ほどメンバー表をお渡しする。

4 その他

第2回策定委員会 8月24日（木）午後1時30分～

<意見・提案>

- ・電子書籍を常用している子どもたちをどう図書館に取り込むのか、いかに本に触れる機会を作るか、電子書籍と本の使い分け等、電子書籍について計画にどう入れ込んでいくのか。
- ・学校図書館を利用することを計画に盛り込みたい。
- ・学校の図書支援員が策定に関われるようにならないか。
- ・学校図書館に向けてのアンケート内容の見直しが必要。
- ・子どもたちが自然に本を手にとれるような仕組み、仕掛けを地域で作ってけるとよい。